カバイロシジミとの初の出会いは 1962 年 7 月。家族旅行で北海道エースバスツアーに参加したとき、能取岬が観光コースに入っていて、能取灯台をバックに集合写真を撮った後の自由時間に灯台周辺の草むらを飛ぶ小さな青いシジミチョウを採集したのがカバイロシジミであった。次いで移動した小清水原生花園でハマナスの花まわりで本種を捕獲している。今まで三角紙標本のままで残してあり、このたびアルバム形式の標本を作製した。この旅行では、初日にのぼった札幌の藻岩山でエルタテハやウラゴマダラシジミを観察し、然別湖の湖畔でエゾシロチョウとコヒョウモンとの初の出会いをしている。阿寒湖ではホテルイそばの湖畔にあった前田邸の庭に咲くタンポポの花に無数のコヒオドシがまさに乱舞状態で、クジャクチョウも混じるという光景を目にしたが、その後前田邸が公的開発でなくなってしまい、二度とあの夢のような光景は再現されない。

Copyright© 2008- Soft House JUMP. All rights reserved.